

令和 2 年 度

主要施策の成果に関する報告書

北はりま消防組合

主要施策の成果に関する報告

令和2年度一般会計予算は、当初予算額 2,793,403,000円とし、補正予算で 48,928,000円を減額した結果、最終予算額 2,744,475,000円に対し、歳入決算額 2,477,714,623円（予算に対する収入割合90.3%）、歳出決算額 2,448,333,309円（予算に対する支出割合89.2%）で、歳入歳出差引額は、29,381,314円となりました。

実質収支額は、29,381,314円となり、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額を 15,000,000円といたしました。

◎ 令和2年度 決算の状況 (単位:千円)

区 分		一般会計
歳 入 総 額		2,477,714
歳 出 総 額		2,448,333
歳入歳出差引額		29,381
翌年度へ繰り 越すべき財源	継続費逓次繰越額	0
	繰越明許費繰越額	0
	事故繰越し繰越額	0
	計	0
実 質 収 支 額		29,381
実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額		15,000

1 新しい時代にふさわしい消防の人づくり

「職員研修計画」に基づき、業務を公正、安全かつ効率的に遂行するための知識・技術の習得、体力の錬成、資質の向上を図るため、消防大学校、兵庫県消防学校及び神戸市消防学校に23人を派遣するとともに、行政執行能力を高めるため、播磨内陸広域行政協議会研修等に41人を派遣しました。

しかしながら、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止から、多くの研修が中止となり、研修派遣数が前年度と比較し大幅な減少となりました。

◎ 職員研修

(単位：人)

研修名		派遣人数	
消防大学校	総合教育	幹部科	1
	専科教育	救助科	(延期)
兵庫県 消防学校	初任教育		7
	専科教育	警防科	2
		特殊災害科	(中止)
		危険物科	2
		火災調査科	(中止)
		救急科	4
		救助科	2
	幹部教育	上級幹部科	(中止)
		中級幹部科	(中止)
	特別教育	潜水科	(中止)
		通信指令科	(中止)
	救急救命士養成課程		1
	指導救命士養成研修		(中止)
	山岳用救助器具取扱技術研修		2
	惨事ストレス研修		1
実火災体験型訓練		(中止)	
神戸市消防学校	機械課程	1	
	特殊災害課程	(中止)	
小 計		23	
播磨内陸広域 行政協議会	新任職員研修		(中止)
	接遇研修		7
	政策法務研修		6
	ソリューションフォーカス研修		5
	監督職研修		4
	職員研修①		3
	職員研修②		(中止)
	法制執務研修		9
その他	兵庫県市町振興課関係研修		5
	その他の研修		2
小 計		41	
合 計		64	

2 火災予防対策の推進

予防業務では、防火対象物、危険物施設への立入検査の強化に努めるとともに、自主防災組織や各種事業所等の訓練に積極的に参加して、防火意識の啓発を行っているところですが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行、拡大に伴い、できる限り人と人とが接触する機会を少なくする必要があることから、積極的な査察、訓練指導は実施せず、違反是正や災害時の人命危険が大きい施設に対する指導に重点を置き、業務を行いました。

家庭における防火対策では、住宅用火災警報器のみならず、住宅用消火器などの住宅用防災機器や防災品の普及を図り、住宅火災による建物損害額及び焼死者数等被害の軽減対策に取り組みました。

住宅用火災警報器についても、更なる設置を促すとともに、維持管理についての広報を積極的に行いました。

◎ 危険物施設の査察状況

施設区分		施設数	査察件数
製造所		15	0
貯蔵所	屋内貯蔵所	170	5
	屋外タンク貯蔵所	118	10
	屋内タンク貯蔵所	29	2
	地下タンク貯蔵所	148	7
	簡易タンク貯蔵所	3	0
	移動タンク貯蔵所	69	64
	屋外貯蔵所	26	0
	小計	563	88
取扱所	給油取扱所	161	12
	販売取扱所	3	1
	一般取扱所	120	9
	小計	284	22
合計		862	110

※新型コロナウイルス感染症対策として、積極的な査察を控えたことによる。

◎ 事業所等訓練指導状況

(単位：回、人)

	西脇消防署	加西消防署	加東消防署	合計
訓練回数	38	14	33	85
参加人員	76	28	66	170

※新型コロナウイルス感染症対策として、積極的な訓練派遣を控えたことによる。

◎ 住宅用防災機器設置調査状況

(単位：%)

	西脇市	加西市	加東市	多可町	住所不明	合計
住宅用火災警報器	87.1 (27/31)	75.9 (22/29)	96.3 (26/27)	57.1 (8/14)	77.4 (24/31)	81.1 (107/132)
消火器	58.1 (18/31)	69.0 (20/29)	81.5 (22/27)	78.6 (11/14)	64.5 (20/31)	68.9 (91/132)
防災品	19.4 (6/31)	17.2 (5/29)	29.6 (8/27)	7.1 (1/14)	32.3 (10/31)	22.7 (30/132)

※表中にある（ ）内の数字は、設置件数／調査件数を示す。

※新型コロナウイルス感染症対策として郵送によるアンケート調査としたため、住所の記載のない回答については、住所不明欄に計上した。

3 救急業務の充実・高度化

救急業務体制の充実を図るため、職員研修計画に基づき、救急救命士1人を養成しました。

指導救命士は1人を養成する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で養成研修が中止となりました。

また、救急救命士が行う処置の拡大項目にあたる気管挿管に4人、ビデオ挿管に4人、薬剤投与に2人の認定資格を取得させるとともに、就業前研修2人、生涯教育47人を実施し、救急救命士の資質の向上に努めました。

救命率の向上を図ることが目的である住民に対する応急手当普及啓発活動（普及員講習、上級救命講習、普通救命講習、一般救急講習）については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全ての応急手当普及啓発活動を中止しました。

救急車の正しい利用方法については、イベントでのチラシの配布やホームページ等で啓発活動を行い、救急出動件数は6,099件で、平成31年（令和元年）の6,832件から733件の減少となりましたが、この件数減少は新型コロナウイルス感染症拡大の影響も関係していると考えられます。

◎ 病院実習（救急救命士）延べ人員

（単位：人）

実習名	実習等時間	医療機関名	人員
気管挿管	30 症例	兵庫県立がんセンター	4
ビデオ挿管	3 症例	西脇市立西脇病院	4
薬剤投与	50 時間	西脇市立西脇病院	1
		加東市民病院	1
就業前研修	32 時間	西脇市立西脇病院	1
	128 時間	兵庫県災害医療センター	
	160 時間	加東市民病院	
生涯教育	12～24 時間	西脇市立西脇病院	6
		市立加西病院	8
		大山記念病院	4
		多可赤十字病院	6
		加東市民病院	3
	48 時間	兵庫県災害医療センター	11
		兵庫県立加古川医療センター	9
合 計			59

◎ 救命講習会実施状況

（単位：回、人）

講習種別	普通救命講習	上級救命講習	普及員講習	一般救急講習	合 計
講習回数	0	0	0	0	0
受講者数	0	0	0	0	0

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全ての応急手当普及啓発活動を中止しました。

4 執務環境整備事業

(1) 西脇消防署多可出張所建設事業

多可出張所建設に伴う庁舎新築工事実施設計を行いました。

(2) 加西消防署庁舎空調設備改修工事事業

庁舎老朽化に伴う改修工事を行いました。

◎ 消防施設整備事業費

（単位：円）

事業名	2 年度決算額
西脇消防署多可出張所建設事業	4,478,100
加西消防署庁舎空調設備改修工事事業	4,730,000

5 車両更新整備事業

現有車両の更新整備を図り、消防施設整備の充実強化を図りました。

(単位：円)

事業名	事業内容	配置先	金額
消防車両整備事業	高規格救急自動車	西脇消防署	32,028,590
消防車両整備事業	高規格救急自動車	加西南出張所	30,891,410

6 組合債の状況

(単位：円)

区分	令和元年度末 現在高	令和2年度 発行額	令和2年度元利償還額			令和2年度末 現在高
			元金	利子	計	
消防施設 整備事業	890,220,113	62,800,000	286,590,498	2,042,886	288,633,384	666,429,615

7 基金の状況

(単位：円)

区分	令和元年度末 現在高	令和2年度		令和2年度末 現在高
		積立額	取崩額	
財政調整基金	38,945,136	12,017,130	0	50,962,266
消防施設整備基金	110,376,801	20,062,337	0	130,439,138